

2019年度 次世代がん医療創生研究事業

公募説明会

2019年3月26日

(於 AMED 20F 201)

はじめに

- 本公募説明会で使用しております資料は、公募要領の抜粋となります。
- 詳細につきましては公募要領（次世代がん医療創生研究事業・2019年度公募）を必ずご確認ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/01/03/0103B_00013.html

2019年度 公募

「標的探索研究タイプ（ユニット型）」の開発研究

①公募タイプ

- 1) 研究領域A～E
- 2) 若手育成枠

②「標的探索研究タイプ」（ユニット型）の対象

- 1) 研究領域A～Eでは、シーズ探索や、創薬ツール開発のための研究を行い、研究期間中に有用性の高いがん治療薬や早期診断法の開発に繋がるシーズを取得することを目指す研究を対象とします。
- 2) 若手育成枠では、将来世界で活躍できる若手研究者の育成支援を鑑み、特定の研究領域（A～E）を限定せずに、海外研究機関との連携を盛り込んだ、新しいアプローチの研究開発提案を求めます。

公募概要(研究領域A～E)

公募要領
P.7 他

■ 公募課題数等

#	分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	新規採択課題 予定数
1	研究領域 A (治療ターゲット) がんの発症・進展に関わる代謝産物やタンパク質相互作用に着目した新規治療法の研究	1課題当たり年間 10,000千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～3 課題程度
2	研究領域 B (異分野融合創薬システム) がん生物学と異分野先端技術の融合による新規創薬システムの構築とそれによるがん根治療法の研究	1課題当たり年間 10,000千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～3 課題程度
3	研究領域 C (免疫機能制御) 体内のがん細胞を取り巻く環境制御と免疫応答効率化への革新的 •基盤的治療法の研究	1課題当たり年間 10,000千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～4 課題程度
4	研究領域 D (診断/バイオマーカー) 患者に優しい高感度・高精度ながん診断法の研究	1課題当たり年間 10,000千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～4 課題程度
5	研究領域 E (がん多様性) がん細胞の不均一性等に対応した難治性がんの治療法の研究	1課題当たり年間 10,000千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～3 課題程度

公募スケジュール(研究領域A～E)

■ 公募期間

2019年3月15日(金)～2019年4月15日(月)正午【厳守】

■ 書面審査

2019年4月下旬～2019年5月中旬

■ 面接（ヒアリング）※必要に応じて実施

研究領域A 2019年5月28日（火）

研究領域B 2019年6月7日（金）

研究領域C 2019年6月6日（木）

研究領域D 2019年6月5日（水）

研究領域E 2019年5月29日（水）

(注) ヒアリングを実施する場合は、対象課題の研究開発代表者に対して、原則としてヒアリングの1週間前までに電子メールにてご連絡します（ヒアリング対象外の場合や、ヒアリング自体が実施されない場合には、ご連絡はいたしませんので、採択可否の通知までお待ちください）。

■ 採択可否の通知

2019年7月中旬（予定）

■ 契約締結/研究開始

2019年8月1日（予定）

提出書類(研究領域A～E)

申込書類の名称	提出方法（e-Radによる提出） 【ファイル名（見本）】	提出
研究開発提案書※1	PDFファイル 【01_teiansyo_amed_taro.pdf】	必須
PMDAの事前面談・対面助言の記録等※2	PDFファイル 【02_pmda_amed_taro.pdf】	任意
動物実験に関する自己点検・評価結果※2	PDFファイル 【03_doubutsu_amed_taro.pdf】	任意

※1 研究開発提案書別紙及び要約を含みます。

※2 該当機関のみ。詳細については、公募要領「IV.提案書類の作成と注意」の「2.提案書類の様式及び作成上の注意」をご参照下さい。

公募概要(若手育成枠)

公募要領
P.7 他

■ 公募課題数等

#	分野等、公募研究開発課題	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	新規採択課題 予定数
6	若手育成枠 国際連携による標的探索研究	1課題当たり年間 7,700千円程度	最長2年 2019年度～ 2020年度	0～3課題程度

(1) 本公募では、将来世界で活躍するために、海外研究機関に所属の研究者との具体的な連携を基本とした新しいアプローチの研究開発提案を求めます。

(2) 公募する研究内容は、がん創薬シーズやバイオマーカー候補の探索に資する新規アプローチを含む標的探索研究で、海外研究者との国際連携を構築し、がん免疫、遺伝子治療、ゲノム・エピゲノム解析、プロテオーム解析、核酸医薬や代謝制御に基づく新規治療法、リキッドバイオプシーや新規イメージング技術等による診断法、ビッグデータの活用など、急速に進展しつつある研究分野を踏まえ、新しい視点に基づいた挑戦的な研究開発課題の提案を求めます。また、異分野融合先端技術の融合による新規創薬システムを構築し、将来がん根治療法の確立を目指します。

(3) 2018年度からAMEDでは一部の事業で、世界水準の研究に携わっている外国人研究者等（国際レビューア）に、公募の審査にご参加いただくことになりました。
本公募では、【若手育成枠】の応募者を対象に英文による提案書類（Form 2）「R&D Proposal」を提出していただき、国際レビューアによる審査を導入いたします。

公募スケジュール(若手育成枠)

■ 公募期間

2019年3月15日(金)～2019年4月15日(月)正午【厳守】

■ 書面審査

2019年5月中旬～2019年6月中旬（予定）

■ 面接（ヒアリング） ※必要に応じて実施

2019年6月下旬（予定）

（注）ヒアリングを実施する場合は、対象課題の研究開発代表者に対して、原則としてヒアリングの1週間前までに電子メールにてご連絡します（ヒアリング対象外の場合や、ヒアリング自体が実施されない場合には、ご連絡はいたしませんので、採択可否の通知までお待ちください）。

■ 採択可否の通知

2019年8月中旬（予定）

■ 契約締結/研究開始

2019年9月1日（予定）

若手育成枠の応募にあたっての注意事項

(1) 研究開発代表者は若手研究者のみとします。

※若手研究者の定義は、以下の条件を満たす者とします。

- ・2019年4月1日時点において、博士等の学位を有する者又はこれと同程度の研究能力があると認められる者。ただし、医師（日本の医師免許取得者）については、博士の学位の有無に関わらず医学部卒業後2年以上を経過した者。
- ・2019年4月1日時点において、年齢が、男性の場合は満40歳未満の者（1979年4月2日以降に生まれた者）、女性の場合は満43歳未満の者（1976年4月2日以降に生まれた者）、又は博士号取得後8年未満の者。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満40歳未満又は満43歳未満の制限に、その日数を加算することができる。

(2) 研究内容に海外研究機関との研究連携が盛り込まれている必要があります。

※海外の研究者は研究協力者として参画して頂きます。

提出書類(若手育成枠)

申込書類の名称	提出方法 (e-Radによる提出) 【ファイル名 (見本)】	提出
研究開発提案書	PDFファイル 【01_teiansyo_amed_taro.pdf】	必須
Form2 (Annex1(英語)含む)	PDFファイル 【02_form2_amed_taro.pdf】	必須
安全保障貿易管理に係わるチェックシート (別紙4)	PDFファイル 【03_annzennhosyou4_amed_taro.pdf】	必須
海外研究者の同意書の写し(書式自由)	PDFファイル 【04_kaigaikennkyuu_amed_taro.pdf】	必須
PMDAの事前面談・対面助言の記録等、 動物実験に関する自己点検・評価結果	PDFファイル 【05_pmda_amed_taro.pdf】 【06_doubutsu_amed_taro.pdf】	任意

※ **任意** 該当機関のみ。詳細については、公募要領「IV.提案書類の作成と注意」の「2.提案書類の様式及び作成上の注意」をご参照下さい。

応募における重複制限について

- 本事業では研究開発代表者として参画できる研究課題は1件のみです。
- 本事業の研究参画者は、下記の表（重複制限）を参照して応募してください。

本事業の研究参画者		標的探索研究タイプ [○] （本公募） ユニット型	
		研究開発代表者	研究開発分担者
標的探索研究タイプ [○] （本公募） ユニット型	研究開発代表者	×	○
	研究開発分担者	○	○
※実施中の研究課題	サポート機関・技術支援班	研究開発代表者	×
		研究開発分担者	○
	応用研究タイプ （チーム型）	研究開発代表者	×
		研究開発分担者	×
	応用研究タイプ （ユニット型）	研究開発代表者	×
		研究開発分担者	○
	標的探索研究タイプ （ユニット型）	研究開発代表者	×
		研究開発分担者	○

※平成28年度、平成29年度、平成30年度の公募において採択され現在実施中のもの

FAQ（主なもの）

問合せ内容	回答
<p>現在、企業の研究者とあるプロジェクトを手掛けていて、その方に分担研究者になっていただきたいと考えております。問題ないでしょうか？</p>	<p>本事業への企業に所属する研究者の参加は可能です。民間企業と連携して実施する研究である場合は、当該民間企業の役割を研究開発「5.（3）企業との共同研究の有無」へ具体的に明記してく提案書ださい。</p>
<p>若手育成枠の提出資料にある「海外研究者と連携して実施する提案であることが確認可能な書類（海外研究者の同意書の写し。様式自由）を応募時に提出」とはどの様な書類が必要か？</p>	<p>研究体制図に連携する海外の研究者の所属、氏名を明記して下さい。その研究者が研究に参加する意思が確認できる書類であれば、形式を問いません（メール等の覚え書きでも構いません）。既に共同研究を実施している場合は、それがわかる書類の写しを提出して下さい。ただし、海外の研究機関を再委託先とすることはできません。</p>
<p>若手育成枠の提出資料にある「安全保障貿易管理に係るチェックシート」は誰が実施すればよいですか？</p>	<p>研究開発代表者が実施して下さい。応募頂いた提案書のForm2は、国際レビューアに送付し、審査して頂きます。海外に技術情報を含む書類を送付するため、「安全保障輸出管理制度」に従った対応が求められます。「安全保障貿易管理に係るチェックシート」は、研究開発代表者が責任を持って内容を確認し、自署による日付、署名をお願いします。提出は、その写しを提出して下さい（郵送不要）。</p>

お問合せ先

■ 公募課題、評価、申請書の記載方法等の問い合わせ

AMED 戦略推進部がん研究課

次世代がん医療創生研究事業 公募担当

Tel : 03-6870-2221

E-mail : koubo-jisedai@amed.go.jp

※お問合せはなるべく電子メールでお願いします。

■ e-Radシステムの操作方法

e-Radポータルサイトヘルプデスク

Tel: 0570-066-877 (ナビダイヤル)

利用できない場合は 03-6631-0622 (直通)

受付時間 9:00~18:00 (平日※)

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始 (12月29日~1月3日) を除く